

プロティエ高校・日本人編集者訪問



高校生との交流

研修3日目は朝7時に出発し、プノンペンから車で2時間かかるプレイヴェン州のプロティエ高校に行きました。

日本語を勉強している生徒40人くらいが歓迎してくれました。最初は緊張していた生徒もだいに笑顔になり、将来についてお互いに語り合ったり、日本から持っていったお菓子を紹介しながら折り紙を教えたり、楽しい時間を過ごしました。最後に集合写真を撮った後には、“幸せなら手を叩こう”を一緒に心を合わせて歌いました。

雑誌編集者：木村文さんにお話を伺いました

午後は、朝日新聞の報道部門で以前働いておられ、現在は『プノン』という雑誌を編集している木村文さんのお話をうかがいました。ポル・ポト派の今も続いている裁判について記者としての立場からお話をうかがい、昨日の体験と重ねてさらに深く考えることができました。

生徒たちは、今日の高校生との交流を通して自分たちがいかに恵まれた生活をしているのか、家族のありがたみ、勉強できることの喜び、心のあり方などたくさん心に湧いてくるものがあったようです。



研修4日目 シュムリアップへ



CANDY ANGKOR 訪問

研修4日目はプノンペンからシュムリアップへ移動しました。

シュムリアップでは、今年度から初めてプログラムに取り入れられた飴細工の関屋弥生さんを訪れ、お話をうかがいました。事前をお願いしていた質問シートに添って、悩みながらも飾らずにお話しして下さる関谷さんに生徒は親近感を感じたようで、進路の相談もしておりました。飴を愛してやまない関谷さんの情熱にも心打たれました。



■ アンコールワット&アンコールトム 見学

午後は皆が楽しみにしていたアンコールワット&アンコールトムを見学しました。アンコールワットの幻想的な姿に生徒一人ひとりが感嘆の声をあげながら楽しんでいました。一番上の第三回廊を登る頃にスクールがやって来て、登り終わったところでどしゃ降りになりました。ひと休みをして雨がやんだところで下りることができ、濡れることもなく移動することができました。頂上から見る景色は、晴れていても雨でも魅了するものがありました。



『逆さアンコール』と記念撮影]



■ ■ ■ 研修5日目 最終日

■ クル・クメール訪問

研修旅行最終日を迎えました。
朝は、クル・クメールというカンボジアのハーブをもとに商品を作ったりスパをしている代表の篠田ちひろさんにお話を伺いました。

篠田さんの気さくな人柄と行動力に引き込まれ、生徒からの質問も次々に出ていました。



■ オールドマーケットとタブローム遺跡見学

午後は、オールドマーケットとタブローム遺跡を見学しました。タブローム遺跡は、樹木で覆われており自然の生命力を感じることができました。生徒の頑張りを見ていて空が味方してくれたのか、今日のスクールも見学中は濡れることがほとんどありませんでした。

